

わがまちみらいマネジメント講座

会議の見える化講座 実施報告書

- 1 日 時 平成 30 年 11 月 18 日（日）10 時～16 時 00 分
- 2 会 場 中央公民館第 4 研修室（長崎市魚の町 5 番 1 号）
- 3 講 師 畠中 智子氏
（株式会社わらびの 代表取締役）
- 4 開催目的 地域活動のリーダー等を対象として、地域活動における運営能力の向上や地域活性化に効果的な手法の習得を目指す
- 5 テー マ 「ファシリテーション・グラフィック」など、会議の見える化に効果的な手法を学ぶ
- 6 参加者 25 名
- 7 実施内容

○開会

「会議の見える化」に効果的な手法を学ぶ



○講師紹介

株式会社わらびの 代表取締役
畠中 智子さん



○似顔絵他己紹介

➤手順

- ①参加者を6人か8人ずつのグループに分けます。
- ②手づくりのインタビューシートを作成します。(3つの質問項目を書き入れる)
- ③向かい合わせの人とペアになります。
- ④シートの裏面にお互いの似顔絵を描きます。(手元を見ずに30秒で)
- ⑤3分ずつでインタビューし、相手が話したことを記録します。
- ⑥グループ内で1分ずつ他己紹介します。

➤最初の段階で取り入れることにより場が和み、インタビューにより参加者それぞれの想いを引き出すこともできます。



○参加者の想いや目的を共有

➤「今日の講座で学ぶことをどんなことに活かしたいか」というテーマでグループごとに話し合いました。

出た意見などは付せんに書いて模造紙に貼り出し、発表しました。

➤「見える化」に有効な小道具についての説明もありました。

○模造紙：1枚の紙の上で話すことにより、グループ全員が「議論の行き先」を確認することができます。

○付せん：出た意見などを付せんに書き留めることにより、「みんなで見て確認」しながら話を進めることができます。

○水性マーカー：模造紙や付せんへの記入の際に使用すると、見やすい文字の大きさと文字数で書くことができます。



○旗あげアンケート

「見える化」の手法の1つとして紹介されました。

➤手順

- ①設問を提示します。
- ②選択肢を読み上げます。
- ③一斉に旗(カラーカード)を掲げてもらいます。
- ④選択肢ごとの人数を数え、全体に報告します。
- ⑤選んだ理由を尋ねるなど、何人かとやり取りをします。

➤大人数でも簡単にそれぞれの意思を表明することができる上、他の参加者の考えをその場で確認することができます。

➤「子どもっていくつまで？」というテーマで実際にやってみました。



○ファシリテーション・グラフィックのテクニック

➤ファシリテーション・グラフィックとは？

意見のありようを視覚的に確認するための手法です。話し合いの現在地と行き先がひと目で確認でき、参加者の共通理解が進みます。

➤マーカーで模造紙に実際に書いてみながら、模造紙の折りたたみ方・マーカーの色の役割・文字の大きさ・矢印の種類・吹き出しやアイコンの使い方など、いろんなテクニックを教わりました。

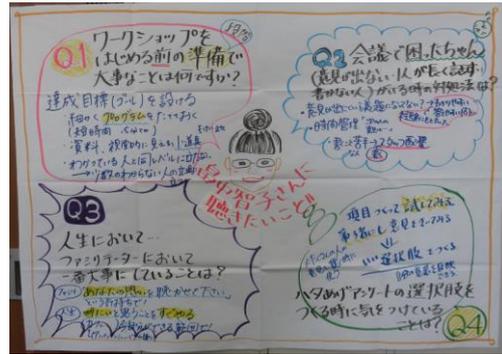


〇とことん Q&A

➤「畠中さんに聞いてみたいこと」というテーマでグループごとに話し合って模造紙にまとめ、出てきた質問に畠中さんが答えました。



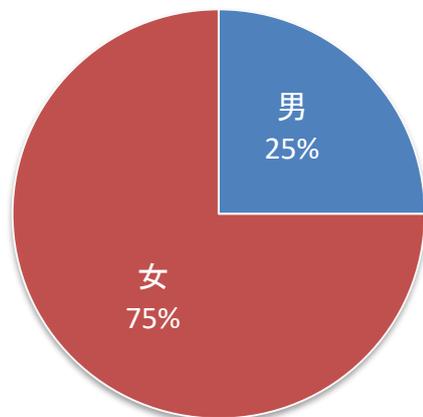
➤畠中さんが答えた内容は、講座で学んだテクニック等を活用し、それぞれのグループで模造紙に書き込んで「見える化」しました。



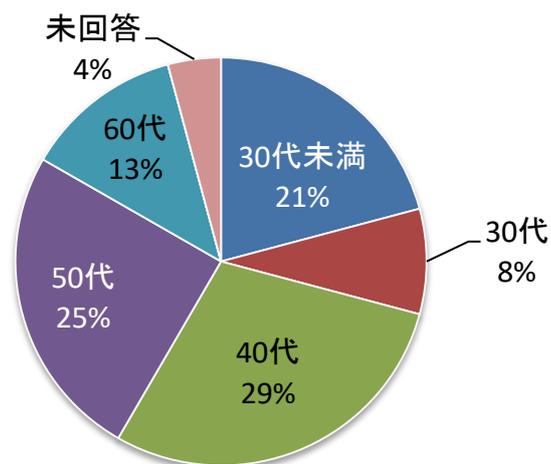
8 アンケート結果

別紙「アンケート結果」参照

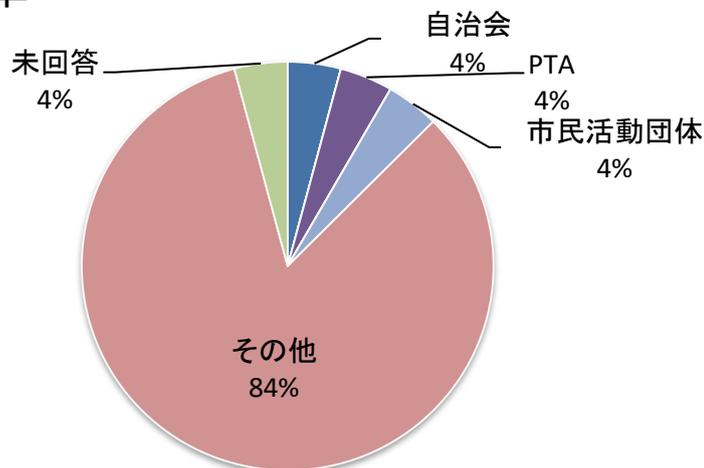
参加者 男女比率



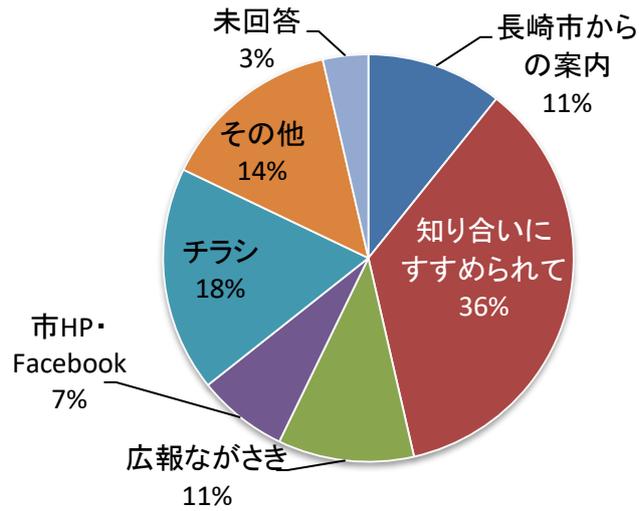
参加者 年代比率



参加者 団体比率

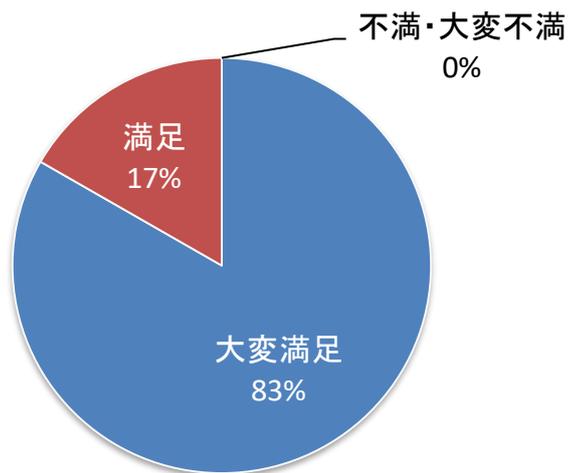


1 本日はどのようなきっかけでご来場されましたか？（複数可）

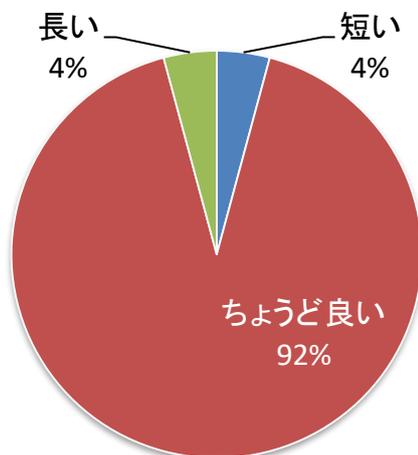


2 本日の講座の評価について、当てはまるものを選んでください。

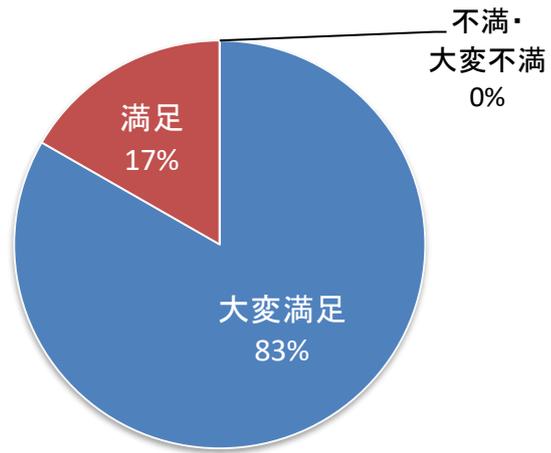
(1) 講座内容について



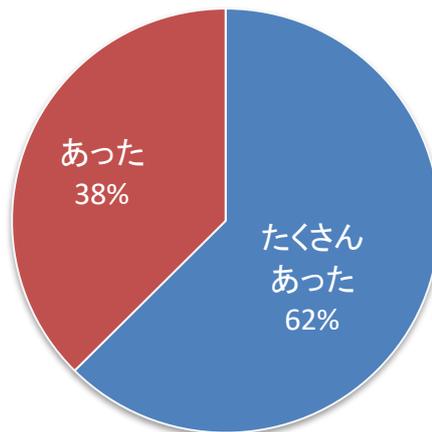
(2) 時間配分について



(3) 全体的に



3 新たな発見や活動の参考になることはありましたか？



3 新たな発見や活動の参考になったこと（自由記述）

内容
いろいろなアイデアがあるとわかりました
<ul style="list-style-type: none"> ・進行のテクニック例えば時間割や多様な意見、考えの引き出し方などが参考になった ・議題、話題の重さ、軽さの見分け、判断のしかたが何となくわかった
手法だけでなく、参加者の心理的な部分での '見える化'が大切だと気付かされました→旗上げで発言のハードルを低くする等
<ul style="list-style-type: none"> ・旗上げなど全体の意見の見える化それぞれの理由を聞く方法 ・ファシリテーターをする際に気をつけること
ファシリテーターとしての手法や小物の使い方など知らないことがたくさんあり、勉強になりました
つぶやきを見逃さないこと
「ハタ上げ」アンケート・・・すぐできるところと意見がでやすくなると思う
旗あげアンケート
<ul style="list-style-type: none"> ・もぞう紙を使った書き方 ・ファシリテーターの進め方 ・好奇心をもつことなど
すごく楽しかったです。旗あげアンケートをぜひやってみたいと思いました！参加者が意見を出しやすいようにプログラムや環境づくりをしたいと思います。
ファシリテーションで大切にしたいこと、地域の中で、活動するためのノウハウ、コツ、楽しく行動するための元気をいただきました
地域内で活動を見直すための会議をもつために是非、参考にしていきたいと思います
ポストイットの活用
具体的な手法が聞けたことがとてもよかった
<ul style="list-style-type: none"> ・似顔絵、他己紹介や旗あげアンケートといった手法 ・ファシリテーターの心がまえ
<ul style="list-style-type: none"> ・意見が出なくて困った時にどうしたらよいかなどのアイデアが出て話し合いが怖くなくなりそうです ・ワークショップの準備もイメージがわいたので少しずつ準備も上手くなれそう・・・
ファシリは中立であること、いいとも悪いとも言わない
旗あげアンケートやワークショップの導入などたいへん勉強になりました
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、ファシリテーターが多様な価値感を受け入れる度量が必要 ・失敗→「うまくいかない方法が見つかった」との考え方 ・意見を出してもらうためには、体験から話せる話題から
話し合いをすすめていく中で気になっていたことにアドバイスがもらえた
<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーターにも個性やキャラがあつて当たり前ということ ・小道具の選び方にも思いやりが必要ということ ・多様な価値観を受け止められるファシリになるということ
<ul style="list-style-type: none"> ・会議での意見の出し方(促し方) ・クレームの対応 ・会議(ワークショップ)へののぞみ方
模造紙3枚(2H)に書く訓練はできるだけやっていきたいと思っています。畠中さんの「失敗とはとらえずうまくいかない方法が、1つ見つかったと捉える」という考え方や「やりたいと思ったことはすぐやる」といった考え方は取り入れたいと思いました
旗あげアンケート、参加者への配慮など

4 その他、ご意見・ご要望、感想など（自由記述）

内容
畠中さんのお話、雰囲気がとてもよかったです！
会場の工夫があったらいいと思います 騒音が気になった
とても楽しくて元気もらいました 畠中さんの講座があればまた参加したいです
参加して良かったです。講師の方のわかりやすい話し方は最高でした。グループのみなさんの意見もきけて良かったです。
フォローアップ研修等、定期的に受講したいです
又、ぜひ機会を作っていただきたいです
畠中先生の心がけていることを参考にファシリテーターをする機会があれば、私もとりくみたい(あなたの思いをきかせて下さい。という気持ちで)
また来て下さったら話を聴きにきたいです
参加して良かったです。ありがとうございました。
ボランティアのため午前中参加できず、残念でしたが、ファシリテーターへの(ワークショップへの)苦手意識がありました。何となく楽しそうと思えるようになりました。
あっという間にすぎました。楽しかったです。模造紙の書き方を改めて知ることができました。職場で共有したいです
楽しかったです。本当にありがとうございました。
畠中先生の人柄によるところも大きいかと思うので、はじめから全てをとり入れることは難しいかもしれませんが、まずは、テクニックなどを活用してよりよい場づくりを心がけていきたいです。